

文化財保存 活用地域計画ニュースレター

Vol.3

2023.8

発行 富田林市教育委員会生涯学習部 文化財課

● 策定協議会を開催し、専門家や文化財所有者から貴重なご意見をいただきました

『富田林市文化財保存活用地域計画』の作成に向けて様々なご意見をいただくため、文化財に関する専門家や文化財所有者、関係機関・団体の代表、市民など15人の委員で構成する「文化財保存活用地域計画策定協議会」を設置し、ご意見をいただきながら計画づくりに取り組んでいます。

■ 令和4年度第3回協議会

令和5年3月9日(木)／富田林きらめき創造館

◇アンケートとワークショップの報告

【主なご意見】

- ・重要な意見がたくさんある印象を持った。
- ・市民の関心が比較的高いことは分かったが、情報がいきわたっていないことも強く感じた。
- ・金剛地区の居住者に、もっと関心を持ってもらう必要がある
- ・文化財に詳しい人以外へのアプローチが必要では。
- ・文化財を保存できて、市民に公開する施設づくりに取り組んでもらいたい
- ・文化財の保存活用に関わる人材を見つける意味でも、ワークショップを継続的にしてはどうか。
- ・実現できそうなアイデアもある。アクションをおこせば反応はあると思うので、検討してはどうか。
- ・小学校や中学校を対象にして、出前授業などで、文化財の大切さを教えていくことが大切。

■ 令和5年度第1回協議会

令和5年6月9日(金)／富田林市役所

◇関連文化財群や、文化財の保存活用に関する課題と措置について

【主なご意見】

- ・古文書など歴史資料の保存は、デジタル化だけでなくマイクロフィルムも重要。

- ・文化財情報の発信は市民を巻き込む必要がある。
- ・新堂廃寺やお亀石古墳だけだと終末期古墳に限られる。古墳時代全般を取り上げては。
- ・楠木氏に関する史跡は伝承に基づくものが多く、計画に載せるのは難しい。
- ・西国三十三度巡礼だけでなく、大峰山など民衆に浸透したような拝礼信仰も取り上げてはどうか。
- ・富田林寺内町のように特権を得ようとした大伴や喜志などの動きも取り上げてはどうか。
- ・デジタル化だけでなく、歴史を体験できるような事業も大切である。



令和4年度第3回協議会の様子

- ・計画作成後に取り組んでいく事業の進行管理はどのようにするのか。
- ・計画は文化財の保存・活用に市民に関わってもらうような仕立てにしてもいいと思う。(次回協議会は、9月29日(金)に開催予定です。)

● 文化財課がすばるホールに仮移転します

市庁舎の建て替え工事に伴って、8月14日から文化財課は、すばるホール4階に仮移転します。

郵便物の送付先や電話番号(代表番号)は今までと変わりません。